

# 諏訪の景気動向

平成22年 8月

(平成22年7月末 D・I調査)

平成22年8月18日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

経営相談室

## 諏訪地方の景気動向（平成 22 年 7 月末）

「平成 22 年 7 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 191 社のご協力を得て行った 7 月末の「景気動向調査（D I 調査）」では、回答全社の「3 ヶ月前」と比べた業況判断 D I は 36.7 と前回調査時（平成 22 年 4 月末、以下同）の 21.3 から 15.4 ポイント改善し 2 期連続のプラスとなった。製造業の業況判断では、「好転」とする企業が 43.2%あり同 D I は 38.9 と前回調査時の 28.9 から 10.0 ポイント改善し 5 期連続してプラスを維持している。また、非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の業況判断は、猛暑効果のあった商業や夏の観光シーズンを迎えた観光・サービス業の D I 値が改善したことから、非製造業全体の同 D I も 30.8 と前回調査時の 1.9 から 28.9 ポイント改善した。

製造業の「3 ヶ月前」と比べた業況判断 D I は、「好転」企業 43.2%、「悪化」企業 4.3%で同 D I は 38.9 と前回調査時の 28.9 から 10.0 ポイント改善し 5 期連続のプラスとなった。また、「前年同期比」では 69.8%の企業が「好転」しており、同 D I は 60.4 と前回調査時の 57.0 から更にプラス幅が拡大している。「3 ヶ月前」と比べた受注状況は、「増加」企業の割合が 52.9%あり同 D I は 44.2 と改善傾向が続いているものの、「3 ヶ月後」の受注予想 D I は 1.5 と前回調査時の 6.8 から 5.3 ポイント悪化しており慎重な見方は崩していない。なかでも、9 月末にエコカー補助金が終了し 10 月以降は 2 割程度の減産が見込まれている輸送用機械では 38.5%の企業で「減少」を予想しており、同 D I は  $\Delta 30.8$  と前回調査時の 0.0 から大幅に悪化している。規模別の「3 ヶ月前」と比べた業況判断では、全ての規模で「悪化」とする企業割合は一桁台であり業況の落ち込みはみられない。なお、「30~99 人企業」では半数以上の 56.5%の企業が「好転」したとして、業況判断 D I は 47.8 と前回調査時の 26.8 から更に 21.0 ポイント改善している。「3 ヶ月前」と比べた収益性 D I は 15.1 と前回調査時から 12.9 ポイント好転し 2 期連続でプラスを維持するも、「3 ヶ月後」の予想は  $\Delta 7.9$  と慎重な見方となっている。

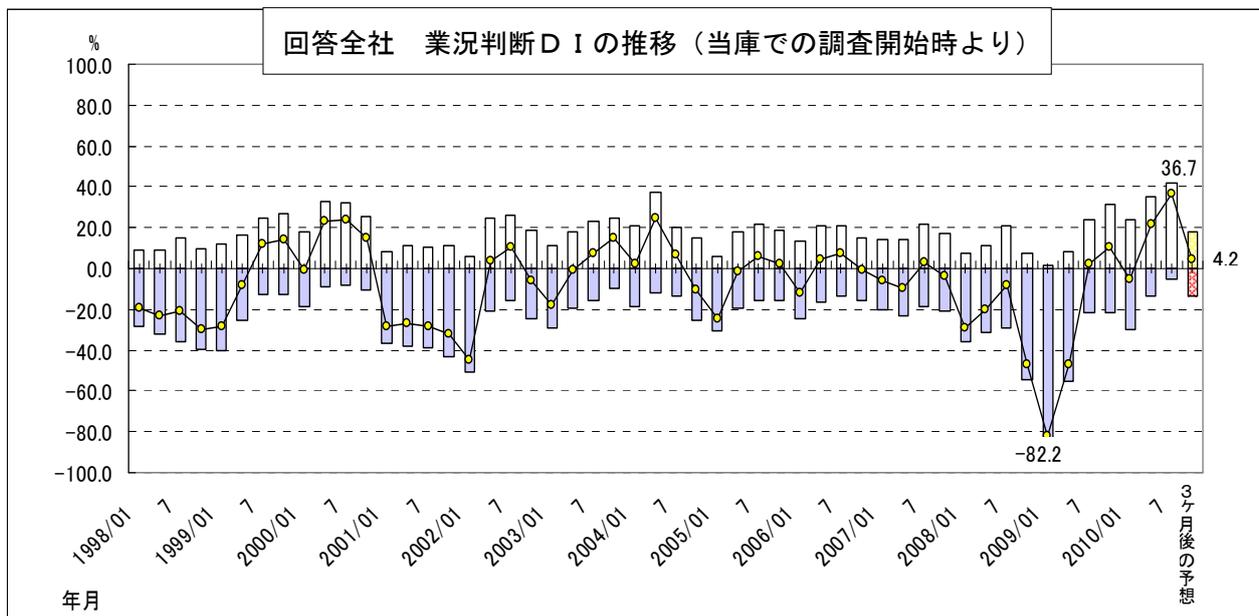
ヒアリング調査では、エコカー補助金の終了に伴う自動車の減産の影響や急激な円高に対する不安感が強くなっている。特に、円高による海外生産への一層の移行は、これまでの量産物のみでなく試作や金型関係でもきかれ、長期的な製造業の動向に対してまで危機感を強めている企業が多い。

商業では、諏訪地方の 7 月の天候は梅雨明けした中旬以降に気温が上昇し記録的な猛暑となった。この猛暑の効果から、アイスやビール、ペットボトル飲料などの売れ行きは前年を 2~5 割程度上回り、家電店ではエアコンや扇風機の動きも好調であった。このようなことから、「3 ヶ月前」と比べた業況判断 D I は 20.0 と前回調査時の  $\Delta 25.0$  からプラスに転じた。ただし、消費者の低価格志向と店舗間の価格競争から、客単価 D I は「3 ヶ月前比」  $\Delta 26.7$ 、「前年同期比」  $\Delta 40.0$  と大幅なマイナスとなっている。また、自動車販売では諏訪地方の 7 月の車庫証明件数（軽除く）は 1,118 台と前年同月比 +102 台（+10.0%）と 2 ヶ月連続して前年比二桁増加しているが、10 月以降のエコカー補助金終了後の落ち込みが危惧されている。衣料品においても、足元の夏物衣料品の動きは良かったものの厳しい残暑となれば秋物衣料の出足を危惧する声がかかる。

観光・サービス業は、夏の観光シーズンを迎えたことから「3ヶ月前」と比べた業況判断では「好転」とする企業が68.2%を占め同D Iは59.1と前回調査時の22.2から36.9ポイントの大幅な改善となった。ただし、「前年同期比」の業況判断では、「好転」企業9.1%、「悪化」企業45.5%で同D Iは△36.4と前回調査時の△7.4から29.0ポイント悪化している。また、「前年同期比」の客単価D Iでは「好転」とする施設はなく同D Iは△45.5と前回調査時の△18.5から27.0ポイント悪化しており、客単価の下落傾向が続いている。一方、「3ヶ月後」の宿泊客数の予想では、信州デスティネーションキャンペーンの効果を期待する声がかかれ同D Iは4.5とプラスに転じている。

建設業の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業6.7%、「悪化」企業6.7%で同D Iは0.0と前回調査時の△14.3から改善したものの、「横這」とする企業が86.7%を占めている。また、「前年同期」と比べ「業況」・「受注状況」・「外注発注量」で「好転」したとする企業はなく、引き続き弱含みで推移している。建築工事は、諏訪地方の6月の新設住宅着工件数は103戸で、「分譲」が昨年比△56戸減少したことから、総体でも前年同月に比べ△64戸(△38.3%)減少した。土木工事では、7月に地元業者が受注した県関係の公共工事は17件845百万円で、国道20号バイパス関連工事の発注等から前年同月に比べ+564百万円増加した。なお、市町村の7月の発注工事は74件813百万円となっている。

雇用状況は、平成22年6月の諏訪地方の有効求人倍率は前年同月を+0.21ポイント上回り0.57倍と前年同月を3ヶ月連続で上回っているが、依然として低水準で推移している。また、長野県の同倍率は0.60倍、全国の同倍率は0.52倍となっている。なお、諏訪地域の6月の新規求人(全数)は1,237人で前年同月比+347人(+39.0%)の増加、新規求職者数は1,016人で前年同月比+79人(+7.6%)の増加となっている。製造業の新規求人数は増加傾向であり、なかでも電気機器と一般機械の増加が顕著である。また、1件10人以上の人員整理は2件37名、事業主都合による雇用保険資格喪失者は89人と前年同月より△103人減少、前月より+14人の増加となった。



## 業況判断D Iの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社（191社）の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業が41.9%、「横這」企業が52.9%、「悪化」企業が5.2%で、同D Iは36.7と前回調査時の21.3から15.4ポイント改善し2期連続のプラスとなった。

製造業の業況判断D Iは、「好転」とする企業が43.2%あり同D Iは38.9と前回調査時の28.9から10.0ポイント改善し5期連続のプラスとなった。規模別では「30～99人企業」の56.5%、業種別では「精密機械」の64.3%の企業が「好転」したとしている。

非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の業況判断D Iは、猛暑効果のあった商業や夏の観光シーズンを迎えた観光・サービス業のD I値が改善したことから、非製造業全体の同D Iも30.8と前回調査時の1.9から28.9ポイント改善した。

産業別業況表

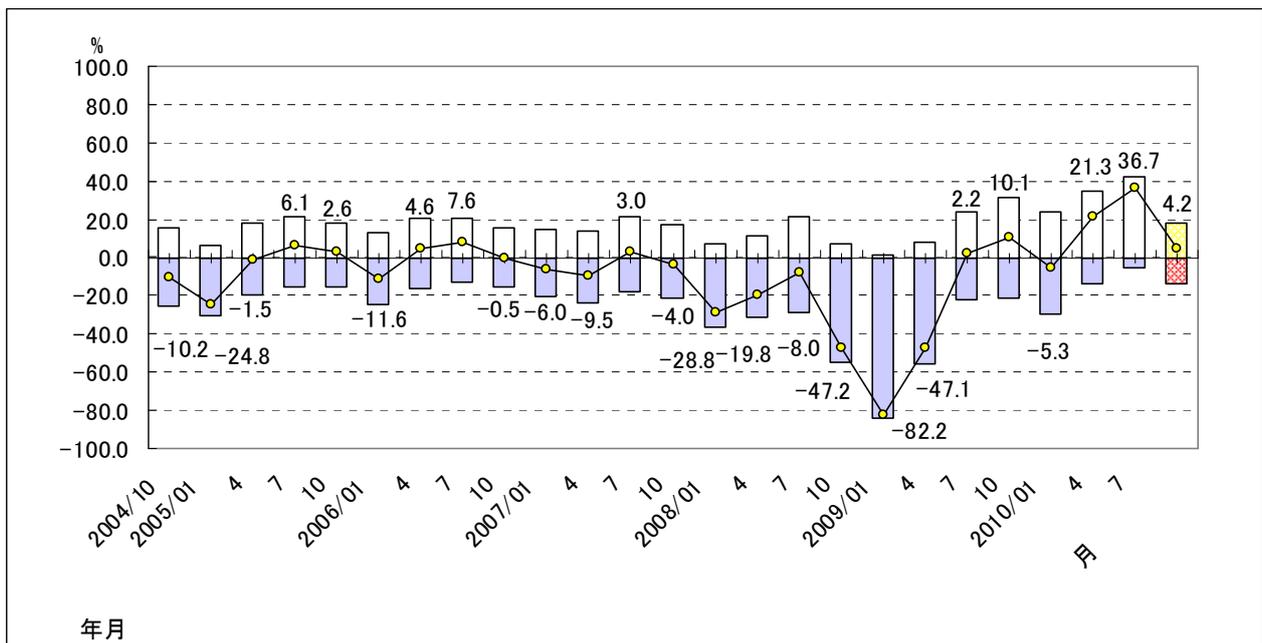
（企業数・%） 表-1

	3月					年					3月				
	企業数	好転%	横這%	悪化%	D I	企業数	好転%	横這%	悪化%	D I	企業数	好転%	横這%	悪化%	D I
製造業	191	41.9	52.9	5.2	36.7	191	53.9	30.9	15.2	38.7	191	17.8	68.6	13.6	4.2
非製造業	139	43.2	52.5	4.3	38.9	139	69.8	20.9	9.4	60.4	139	16.5	71.2	12.2	4.3
商業	52	38.5	53.8	7.7	30.8	52	11.5	57.7	30.8	-19.3	52	21.2	61.5	17.3	3.9
観光・サービス業	15	26.7	66.7	6.7	20.0	15	26.7	46.7	26.7	0.0	15	26.7	66.7	6.7	20.0
建設業	15	6.7	86.7	6.7	0.0	15	0.0	86.7	13.3	-13.3	15	13.3	73.3	13.3	0.0
その他	22	68.2	22.7	9.1	59.1	22	9.1	45.5	45.5	-36.4	22	22.7	50.0	27.3	-4.6

### 自社業況判断D Iの推移

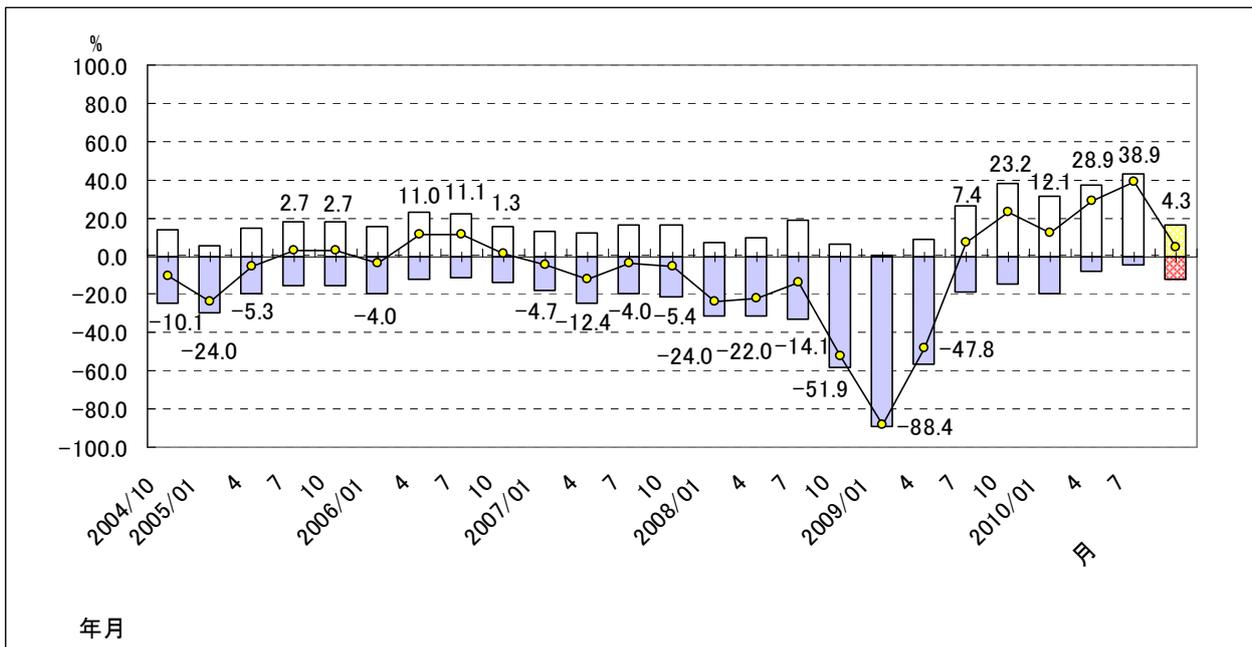
●回答全社：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-1



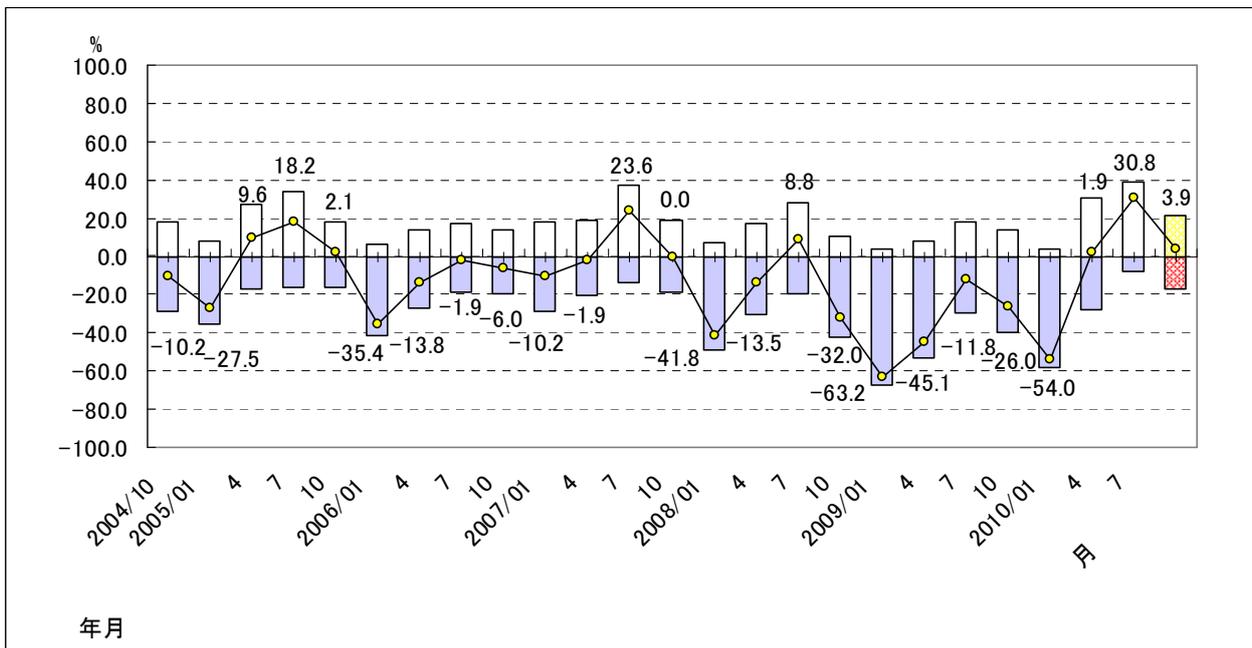
●製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-2



●非製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-3



# 産業別景気動向

## 1. 製造業

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業 43.2%、「悪化」企業 4.3%で同D Iは 38.9 と前回調査時の 28.9 から 10.0 ポイント改善し 5 期連続のプラスとなった。また、「前年同期比」では 69.8%の企業が「好転」しており、同D Iは 60.4 と前回調査時の 57.0 から更にプラス幅が拡大している。「3ヵ月後」の業況予想D Iでは「横這」とする企業割合が 71.2%と最も多いものの、「好転」とする企業が 16.5%、「悪化」とする企業が 12.2%で同D Iは 4.3 と前回調査時の 7.4 から 3.1 ポイント悪化したもののプラスを維持している。

収益性D Iは、「3ヶ月前」と比べ収益性が「好転」した企業が 26.6%、「悪化」した企業が 11.5%で同D Iは 15.1 と前回調査時の 2.2 から 12.9 ポイント好転し 2 期連続でプラスを維持するも、「3ヵ月後」の予想は△7.9 と慎重な見方となっている。

「3ヶ月前」と比べた受注状況は、「増加」企業の割合が 52.9%あり同D Iは 44.2 と改善傾向が続いているものの、「3ヵ月後」の受注予想D Iは 1.5 と前回調査時の 6.8 から 5.3 ポイント悪化しており慎重な見方は崩していない。

規模別の「3ヶ月前」と比べた受注状況は、「30～99人企業」では 65.2%が「増加」として同D Iは 56.5 と前回調査時の 32.5 から 24.0 ポイント改善した。一方、「3ヵ月後」の受注予想D Iでは、「1～29人企業」の同D Iは△1.5 と前回調査時の 4.5 からマイナスに転じている。

業種別の「3ヶ月前」と比べた受注状況は、精密機械の 64.3%の企業が「増加」したとして同D Iは 50.0 と前回調査時の△6.7 から大幅に改善した。また、「3ヵ月後」の受注予想では、9月末にエコカー補助金が終了し10月以降は2割程度の減産が見込まれている輸送用機械で 38.5%の企業が「減少」を予想しており、同D Iは△30.8 と前回調査時の 0.0 から大幅に悪化している。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3 月					年					3 月				
	139	43.2	52.5	4.3	38.9	139	69.8	20.9	9.4	60.4	139	16.5	71.2	12.2	4.3
1 29	66	34.8	63.6	1.5	33.3	66	68.2	25.8	6.1	62.1	66	15.2	72.7	12.1	3.1
30 99	46	56.5	34.8	8.7	47.8	46	65.2	17.4	17.4	47.8	46	17.4	69.6	13.0	4.4
100	27	40.7	55.6	3.7	37.0	27	81.5	14.8	3.7	77.8	27	18.5	70.4	11.1	7.4
	17	29.4	58.8	11.8	17.6	17	70.6	23.5	5.9	64.7	17	5.9	82.4	11.8	-5.9
	36	44.4	52.8	2.8	41.6	36	77.8	13.9	8.3	69.5	36	22.2	77.8	0.0	22.2
	27	48.1	51.9	0.0	48.1	27	85.2	14.8	0.0	85.2	27	22.2	66.7	11.1	11.1
	13	53.8	46.2	0.0	53.8	13	92.3	7.7	0.0	92.3	13	7.7	53.8	38.5	-30.8
	14	64.3	28.6	7.1	57.2	14	57.1	28.6	14.3	42.8	14	21.4	71.4	7.1	14.3

## ①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

### ●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

「3ヶ月前比」の業況判断では、「好転」とする企業が29.4%あるものの「悪化」とする企業も11.8%あり、同D Iは前回調査時の37.5から19.9ポイント悪化の17.6と5業種の中で最も低い数値となっている。また、「3ヶ月後」の業況予想D Iでも「横這」とみる企業が82.4%を占め、「好転」を見込む企業は5.9%と5業種の中で最も低くなっている。

### ●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断は、「好転」とする企業は44.4%、「横這」とする企業は52.8%で同D Iは41.6と前回調査時の53.1から11.5ポイント悪化したものの比較的堅調に推移している。また、「3ヶ月後」の業況予想では、「悪化」を予想する企業は5業種の中で唯一1社もなく、同D Iは22.2と5業種で一番高い数値となっている。

### ●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

「3ヶ月前」と比べた業況判断で「悪化」したとする企業はなく、同D Iは48.1と前回調査時の28.6から19.5ポイント改善した。また、「前年同期」と比べた業況判断でも「悪化」とする企業はなく、85.2%の企業が「好転」したとしている。

### ●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断D Iは、「3ヶ月前比」が53.8、「前年同期比」が92.3で、双方とも「悪化」したとする企業はなく改善傾向が続いている。ただし、「3ヶ月後」の予想では「横這」とする企業が53.8%と最も多いものの、「悪化」とみる企業が38.5%あり同D Iは $\Delta$ 30.8と前回調査時から37.5ポイントの大幅な悪化となりマイナスに転じている。各自動車メーカーがエコカー補助金終了後に2割程度の減産を発表しており、その影響を危惧する企業が多くなっている。

### ●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは64.3%の企業で「好転」したとして、同D Iは57.2と前回調査時の0.0から大幅に改善し5業種の中で最も高くなっている。なお、前回調査時の同D I 0.0は5業種の中で一番低い数値であった。

## ②小分類、他の製造業

小分類の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iでは、金属工作機械の同D Iは53.8、自動車関連部品の同D Iは50.0と高水準になっている。

### ③規模別業況

製造業の規模別の「3ヶ月前」と比べた業況判断では、全ての規模で「悪化」とする企業割合は一桁台であり業況の落ち込みはみられない。なお、「30～99人企業」では半数以上の56.5%の企業が「好転」したとして、業況判断D Iは47.8と前回調査時の26.8から更に21.0ポイント改善している。また、「3ヶ月後」の業況予想D Iでは、各規模とも「増加」を見込む企業が幾分みられるものの「横這」を予想する企業割合が最も多くなっている。

### ④受注状況D I（規模別、業種別）

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況は、「増加」企業の割合が52.9%あり同D Iは44.2と改善傾向が続いている。ただし、「3ヶ月後」の受注予想D Iは1.5と前回調査時の6.8から5.3ポイント悪化しており慎重な見方は崩していない。

規模別の「3ヶ月前」と比べた受注状況は、各規模とも前回調査時より「増加」企業の割合が増えており、なかでも「30～99人企業」では65.2%が「増加」として同D Iは56.5と前回調査時の32.5から24.0ポイント改善した。一方、「3ヶ月後」の受注予想D Iでは、「1～29人企業」の同D Iは△1.5と前回調査時の4.5からマイナスに転じている。

業種別の「3ヶ月前」と比べた受注状況は、全ての業種で「増加」とする企業割合が最も多くなっており、なかでも精密機械では64.3%の企業が「増加」したとして同D Iは50.0と前回調査時の△6.7から大幅に改善した。また、「3ヶ月後」の受注予想では、前回調査時より金属製品が24.2ポイント改善し同D Iは11.7、精密機械が14.3ポイント改善し同D Iは14.3となっているものの、輸送用機械、一般機械、電気機械では前回調査時よりも悪化している。特に、9月末にエコカー補助金が終了し10月以降は2割程度の減産が見込まれている輸送用機械では38.5%の企業で「減少」を予想しており、同D Iは△30.8と前回調査時の0.0から大幅に悪化している。

業種別・規模別受注状況表

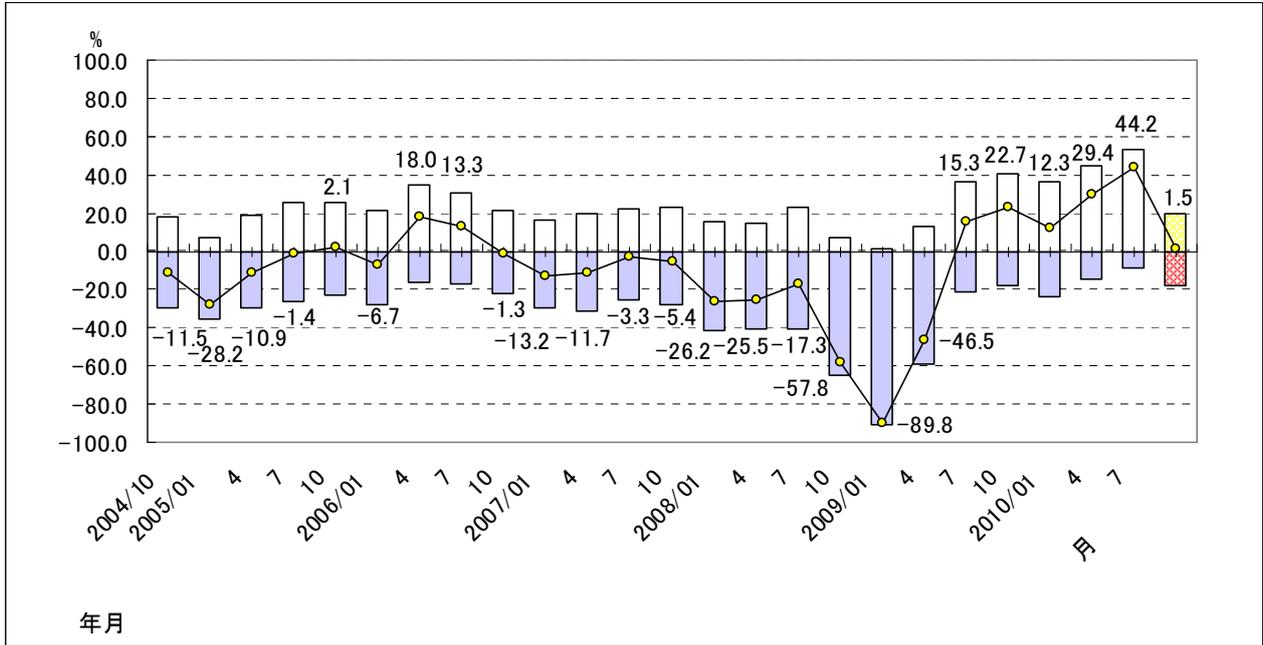
表-3

		3月					年					3月				
		138	52.9	38.4	8.7	44.2	139	71.2	18.7	10.1	61.1	138	19.6	62.3	18.1	1.5
	1 29	65	44.6	46.2	9.2	35.4	66	65.2	24.2	10.6	54.6	65	18.5	61.5	20.0	-1.5
	30 99	46	65.2	26.1	8.7	56.5	46	73.9	13.0	13.0	60.9	46	19.6	67.4	13.0	6.6
	100	27	51.9	40.7	7.4	44.5	27	81.5	14.8	3.7	77.8	27	22.2	55.6	22.2	0.0
		17	47.1	41.2	11.8	35.3	17	70.6	23.5	5.9	64.7	17	17.6	76.5	5.9	11.7
		35	48.6	37.1	14.3	34.3	36	75.0	16.7	8.3	66.7	35	22.9	62.9	14.3	8.6
		27	59.3	37.0	3.7	55.6	27	88.9	11.1	0.0	88.9	27	22.2	59.3	18.5	3.7
		13	61.5	38.5	0.0	61.5	13	92.3	7.7	0.0	92.3	13	7.7	53.8	38.5	-30.8
		14	64.3	21.4	14.3	50.0	14	57.1	21.4	21.4	35.7	14	28.6	57.1	14.3	14.3

製造業の受注状況 D I の推移

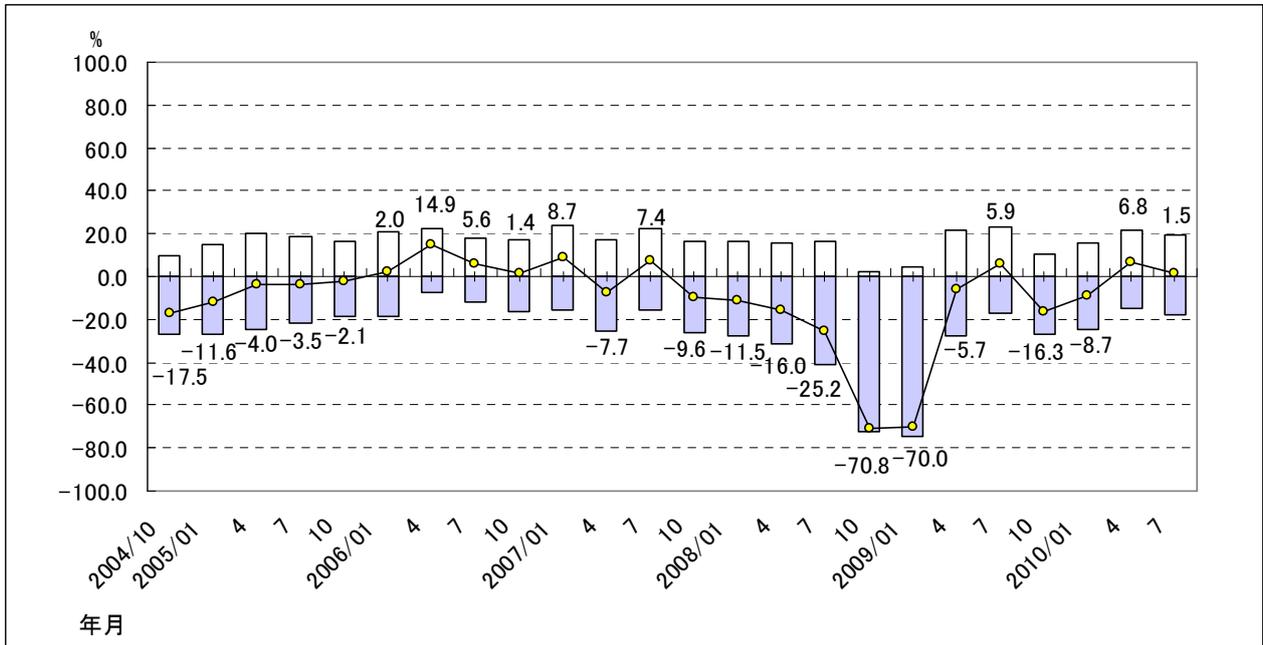
●製造業全社：「3ヶ月前」と比べた受注状況 D I の推移

グラフー4



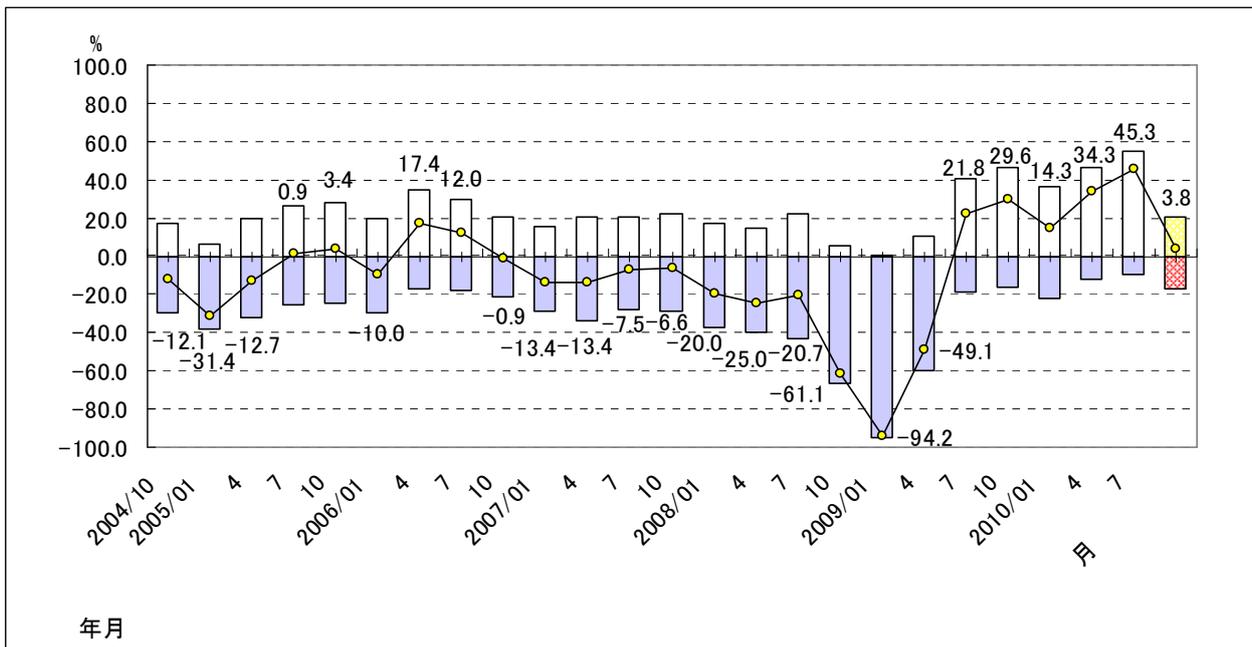
●製造業全社：「3ヶ月後」の受注予想 D I の推移

グラフー5



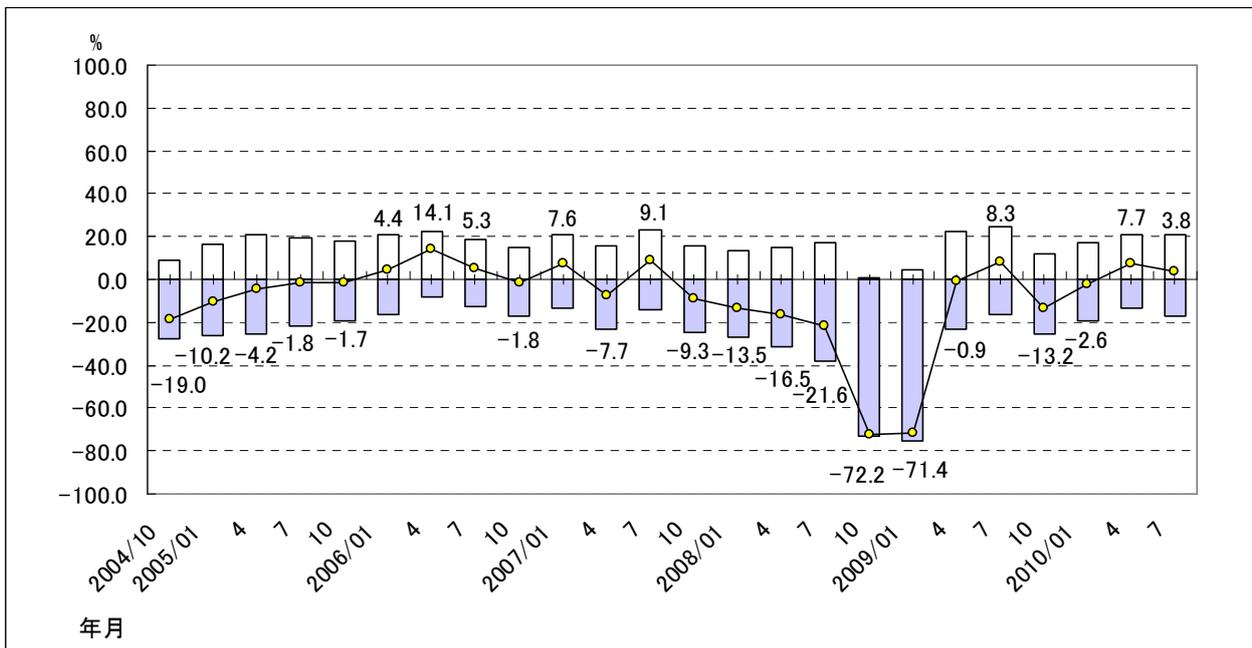
●製造業 主要5業種：「3ヶ月前」と比べた受注状況D Iの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種：「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



## 2. 商業・観光サービス業

### ①商業

諏訪地方の7月の天候は、梅雨明けした中旬以降は晴れた日が多く気温が上昇し、月の平均気温が平年よりかなり高くなるなど記録的な猛暑となった。猛暑の効果からアイスや飲料などの売れ行きは前年を大幅に上回り、家電店ではエアコンや扇風機の動きも好調であった。このようなことから、「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは20.0と前回調査時の△25.0からプラスに転じた。ただし、消費者の低価格志向と店舗間の価格競争から、客単価D Iは「3ヶ月前比」△26.7、「前年同期比」△40.0と大幅なマイナスとなっている。

- 食料品 梅雨明けの猛暑からアイス、そうめん、ビールやペットボトル飲料の売れ行きは好調で盛夏物食品では前年比の売上げが概ね2～5割程度増加した。なかでも、カキ氷などの氷菓は例年の数倍の動きがあった。
- 衣料品 夏物衣料品の動きは昨年を上回っており足元の売上状況は改善している店舗が多いものの、残暑の程度により秋物衣料の出足を危惧する声もきかれる。
- 自動車 諏訪地方の7月の車庫証明件数（軽除く）は1,118台で前年同月比+102台（+10.0%）と2ヶ月連続して前年比二桁の増加となっているが、10月以降のエコカー補助金終了後の落ち込みが危惧されている。
- ホームセンター 海や山への行楽用品は例年以上の動きとなっており、夏物商材も堅調であった。
- 大型家電店 猛暑の効果によりエアコンや扇風機の売れ行きが好調であった。

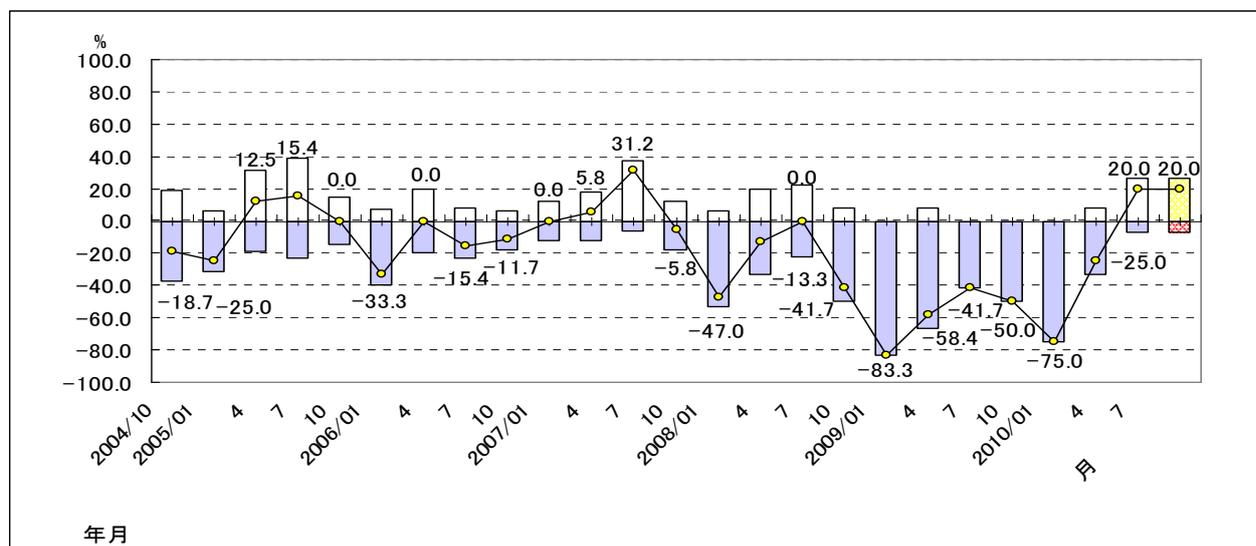
### 業況、客単価、来店客数

表-4

	3月					年					3月				
	15	26.7	66.7	6.7	20.0	15	26.7	46.7	26.7	0.0	15	26.7	66.7	6.7	20.0
	15	0.0	73.3	26.7	-26.7	15	0.0	60.0	40.0	-40.0	15	6.7	73.3	20.0	-13.3
	15	20.0	53.3	26.7	-6.7	15	20.0	46.7	33.3	-13.3	15	13.3	73.3	13.3	0.0

### ●商業全社：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

夏の観光シーズンを迎えたことから、「3ヶ月前」と比べた業況判断では「好転」とする企業が68.2%を占め同D Iは59.1と前回調査時の22.2から36.9ポイントの大幅改善となった。ただし、「前年同期比」の業況判断では、「好転」企業9.1%、「悪化」企業45.5%で同D Iは△36.4と前回調査時の△7.4から29.0ポイント悪化している。また、「前年同期比」の客単価D Iでは「好転」とする施設はなく同D Iは△45.5と前回調査時の△18.5から27.0ポイント悪化しており、客単価の下落傾向が続いている。一方、「3ヶ月後」の宿泊客数の予想では、信州デスティネーションキャンペーンの効果を期待する声がかかれ同D Iは4.5とプラスに転じている。

- 上諏訪温泉 個人客は7月中旬の3連休を中心に比較的堅調であった。また、7月の総体の宿泊者数は前年を幾分上回ったものの、各ホテル旅館の宿泊者数は団体客の取り込み状況等から増減は区々となっている。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか 梅雨明けに入り込み客は増加したものの、ホテル旅館の宿泊者数は施設により前年並みから△20%程度減少と区々になっている。
- 下諏訪温泉 まち巡りレンタサイクルが好評で、信州DCキャンペーンの事前告知等の効果もあり春宮や万治の石仏への観光客が増加している。
- 諏訪大社 上社・下社を合わせた7月の参拝客数は約61千人と、前年同月比約+10千人の増加となった。御柱祭の効果から個人客、団体客ともに増加している。

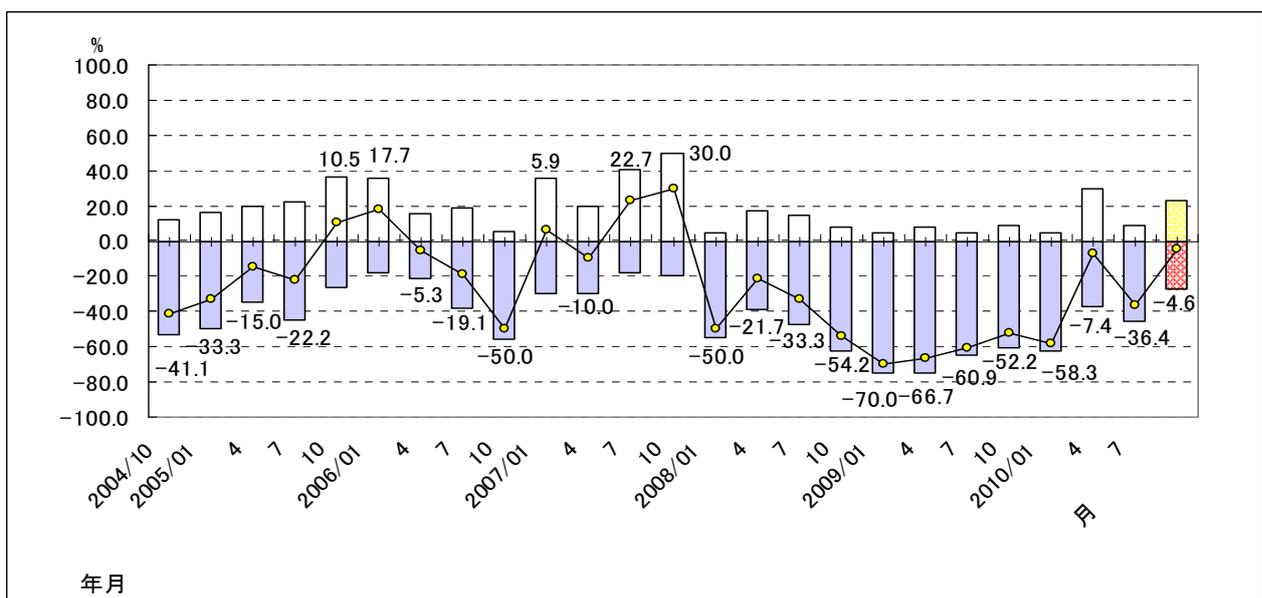
業況、売上、宿泊客

表-5

	3月					年					3月				
	22	68.2	22.7	9.1	59.1	22	9.1	45.5	45.5	-36.4	22	22.7	50.0	27.3	-4.6
	22	18.2	54.5	27.3	-9.1	22	0.0	54.5	45.5	-45.5	22	9.1	68.2	22.7	-13.6
	22	50.0	27.3	22.7	27.3	22	9.1	45.5	45.5	-36.4	22	31.8	40.9	27.3	4.5

●観光・サービス業全社：「前年同期」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-9



### 3. 建設業

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業 6.7%、「悪化」企業 6.7%で同D Iは0.0と前回調査時の△14.3から改善したものの、「横這」とする企業が 86.7%を占めている。また、「前年同期」と比べ「業況」・「受注状況」・「外注発注量」で「好転」したとする企業はなく、また「3ヶ月後」の受注予想D Iでは「横這」とみる企業が 46.7%、「悪化」とみる企業が 46.7%で同D Iは△40.0と引き続き厳しい状況を予想している。

#### ①建築工事

諏訪地方の6月の新設住宅着工件数は103戸で、「分譲」が昨年に比べ△56戸減少したことから、総数でも昨年同月の167戸から△64戸（△38.3%）減少した。また、平成22年4月～6月の累計着工戸数は253戸で前年同期累計比では△77件（△23.3%）の減少となっている。

#### ②土木工事

7月に地元業者が受注した県関係の公共工事は17件845百万円で、国道20号バイパス関連工事の発注等から前年同月に比べ+564百万円増加した。また、平成22年4月～7月の累計契約は43件1,206百万円と前年同期累計比では件数は+12件増加、契約金額も+569百万円の増加となった。

市町村の7月の発注工事は、建築工事11件522百万円、土木工事・下水道工事37件219百万円、その他工事26件71百万円の合計74件813百万円となっている。

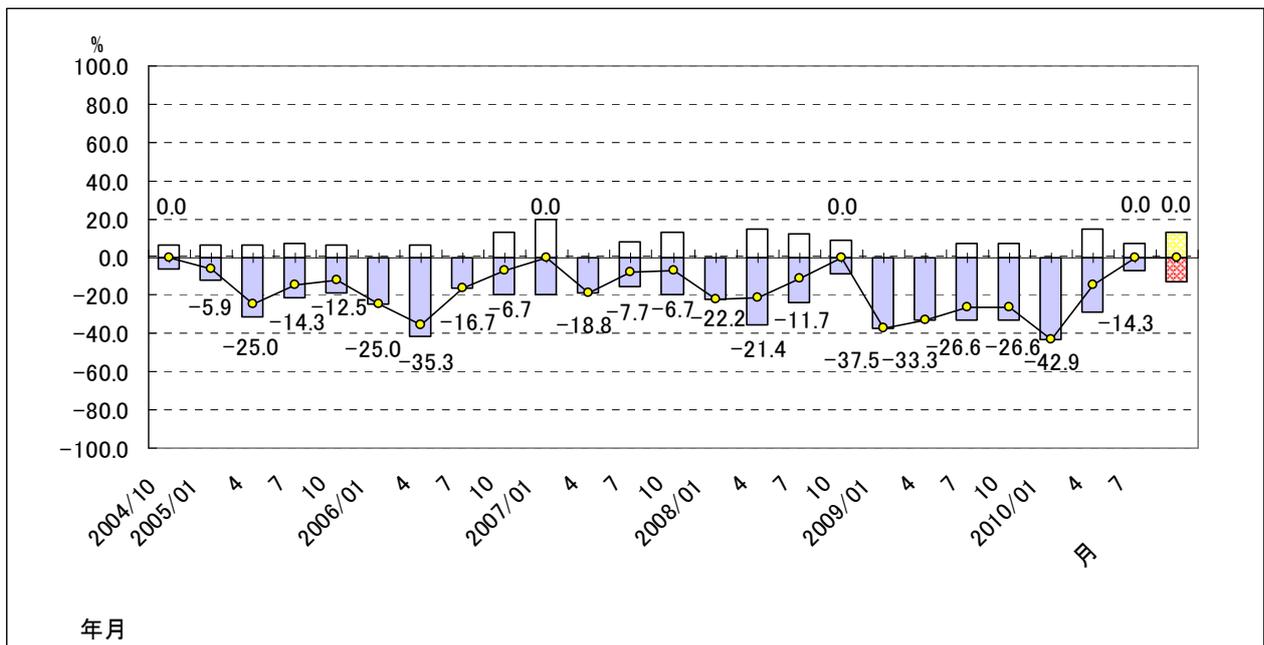
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3月					年					3月				
	15	6.7	86.7	6.7	0.0	15	0.0	86.7	13.3	-13.3	15	13.3	73.3	13.3	0.0
	15	0.0	60.0	40.0	-40.0	15	0.0	66.7	33.3	-33.3	15	6.7	46.7	46.7	-40.0
	15	0.0	80.0	20.0	-20.0	15	0.0	73.3	26.7	-26.7	15	6.7	53.3	40.0	-33.3

●建設業全社：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-10



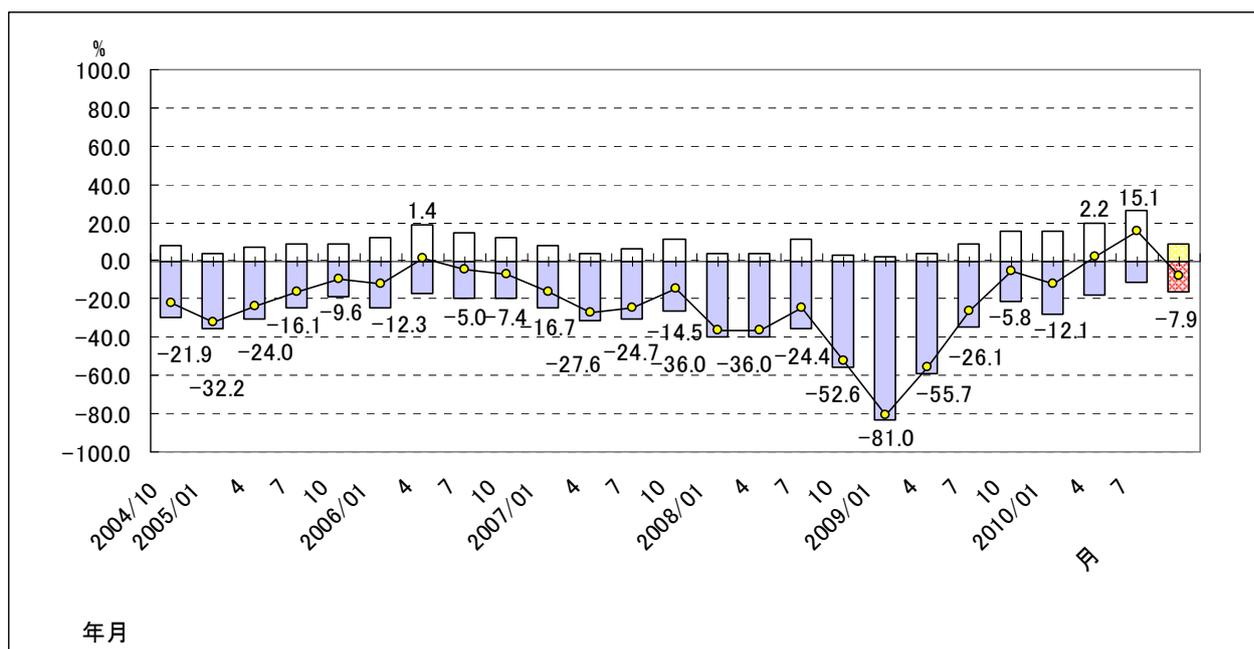
#### 4. 収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性D Iは、「好転企業」22.5%、「横這企業」66.0%、「悪化企業」11.5%で同D Iは11.0と前回調査時の0.5から10.5ポイントの改善となった。

製造業は、「3ヶ月前」と比べ収益性が「好転」した企業が26.6%、「悪化」した企業が11.5%で同D Iは15.1と前回調査時の2.2から12.9ポイント好転し2期連続でプラスを維持するも、「3ヶ月後」の予想は△7.9と慎重な見方となっている。非製造業の「3ヶ月前」と比べた収益性D Iは0.0と前回調査時から3.8ポイント改善し、「3ヶ月後」の予想も1.9とプラスの見方となっている。

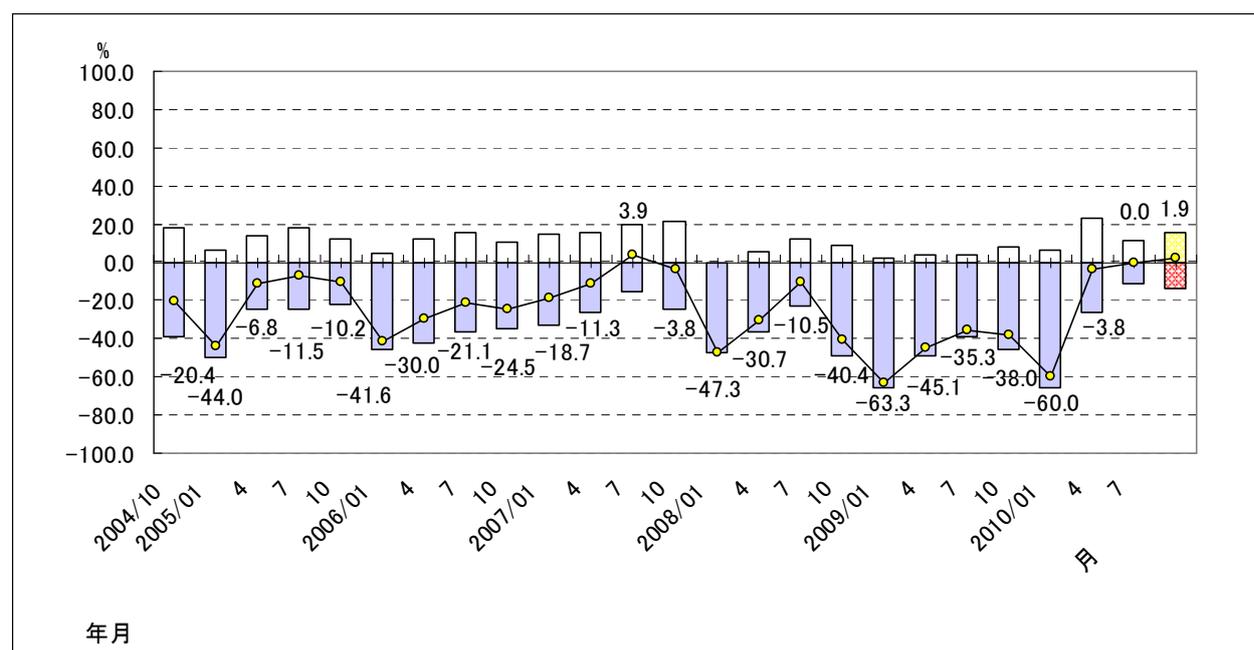
●製造業：3ヶ月前と比べた収益性D I

グラフー11



●非製造業：3ヶ月前と比べた収益性D I

グラフー12



## 5. 経営上の課題

経営上の課題として、①製造業は単価引下げ、売上減少、競争激化をあげる企業が多く、②商業は競争激化、売上減少、③建設業は売上減少、競争激化、④観光・サービス業は売上減少、単価引下げをあげている。その他としては、製造業で円高の進行をあげる企業が23社となった。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	80	49	6	11	14
単価引下げ	65	52	1	2	10
競争激化	65	46	8	6	5
資金繰り	38	25	3	3	7
人件費	30	18	4	1	7
労働力確保	20	19	0	0	1

## 6. 諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【6月】	諏訪公共職業安定所	0.57倍	+0.21ポイント	
手形交換高【7月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	6,384枚	△2,347枚	
	金額	7,289百万円	△2,214百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	2枚	△1枚
	金額	4,259千円	+3,514千円	
電力使用量【7月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	44,619 MWh	+5.2%	
	高压電力計	105,165 MWh	+8.8%	
	合計	149,784 MWh	+7.7%	
車庫証明取扱件数【7月】(諏訪地方合計)		1,118件	+10.0%	
新設住宅着工戸数【H22.4月~6月】(諏訪管内)		253戸	△23.3%	

## 7. 調査概要

DI調査：業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

- 調査期間 平成22年7月末
- 調査内容 「平成22年7月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
- 調査方法 アンケート調査(回答数 下記7)及びヒアリング調査(約120社)
- 対象地域 諏訪地域全域
- 業種 製造業、商業(大型店：売り場面積501㎡以上)、建設業、観光・サービス業
- 回答企業数 191企業
- 回答率 67.5%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	215	20	20	28	283
回答数	139	15	15	22	191